

第76回城山地区まちづくり会議全体会結果

日 時：令和元年11月19日（火）

午後7時～午後9時5分

会 場：城山公民館大会議室

出席者：17名（欠席6名）

傍聴者：1名

1 開 会

2 あいさつ 大参代表

3 議 題

（1）令和元年度地域活性化事業交付金申請事業に対する意見について

最初に、事務局から資料に基づき令和元年度地域活性化事業交付金申請事業の意見のとりまとめ方について説明を受けた。

続いて、申請者から事業概要の説明を受け、質疑応答の後、当該事業に対するまちづくり会議としての意見を取りまとめた。

（ 委員の意見・質問， 申請者の回答 ）

事業名：「金刀比羅宮東側高台整備事業」

団体名：城山湖周辺見晴らし応援隊

《主な意見・質問・回答》

安全柵の長さはどれ程見込んでいるのか。

15メートル程見込んでいる。

○安全柵の設置は、城山湖周辺見晴らし応援隊が行わなければいけないことなのか。

城山地区観光振興計画における城山湖周辺の整備の主体は里地里山推進協議会であるが、ソフト面がメインとなるため側面から支援していきたい。

○危険個所の点検の結果、対応が必要となった場合、翌年以降も活性化事業交付金を申請するのか。

危険個所の点検の結果、必要な場合は翌年以降の申請もあり得る。

《まちづくり会議としての意見》

- ・観光振興のため、地域に広く周知を図り、協力者を増やしてください。
- ・城山観光協会や城山湖里地里山観光振興協議会などの関係団体と連携・協力し、城山湖周辺の観光振興を図ってください。
- ・来年度以降の事業計画についても、さらに検討を進めてください。
- ・事業継続できるよう自主財源の確保に努めてください。

(2) 城山地区で具現化していく取組について(部会検討)

事務局から資料1～5に基づき、前回までの主な意見の振り返りと今回の検討事項についての説明があった。

その後、部会に分かれ、今後の取組内容についての検討が行われた。

【各部会からの検討経過の報告】

高齢者とともに築き支える地域づくり部会

資料3に基づき、取組内容の検討をした結果、次の意見がありました。

- ・民生委員は多くの業務を抱えており、雨戸を閉められない家からSOSがあった際には、雨戸を閉めに行ったりしている。こういったことを近所でできればよい。
- ・過去に中央区で行ったチェックシートはよいのではないか。アレンジして城山バージョンを作ったらどうか。
- ・ただ、歩いているだけでは気づかないことも多い。意識をもって歩くことにより気づくことがある。
- ・ワッペンやバッジ等のトレードマークのようなものが必要なのか。異変に気付くという意識を持ってもらえればよいのではないか。城山には「お節介さん」が多いという印象があればよい。そういう風土づくりをすればよい。
- ・協力員などとするとは各地域には民生委員がいるので、一般の人からは重複してしまい混乱を招く。
- ・チラシを作り配布し、PRを行い、城山地区内にその輪を作る雰囲気づくりをする。チラシ作成には、地域活性化事業交付金を活用する。
- ・賛同者には、ステッカー「お節介の家」を配布したらどうか。
- ・お節介をやるには、相手の自尊心を壊さないように行わないといけない。自分たちがお節介をやっていることでの自己満足ではいけないので注意して行う必要がある。

子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

資料5に基づき、取組のイメージの検討をした結果、次の意見がありました。

- ・活動は、何か行った際、早い段階で結果が出るものがよい。参加するだけでそれで終わってしまう。子どもたちも自信がつく。
- ・子どもたちに地域の課題を話し、子どもたちに理解してもらい行ってもらおう。
- ・地域の課題解決に結びつくようなことのほうが、成果が目に見えてわかり、地域への愛着にも繋がりやすい。
- ・今回のテーマの元々のはじまりを考えたとき、少子化、高齢化により既存団体の事業は、世代間交流がない、若い世代への引継ぎができないということから始まっている。昔よくやっていたが、今は衰退してしまった事業、団体等を考えたとき、穴川や小松川には、昔ホタルが数多く生息していたが、現在は川がかわってしまいホタルも数少ない状況。子供たちと共に清掃し交流を図ってはどうか。
- ・ホタルに関しては、以前は葉山島、城北、小松で連絡協議会があり行っていたが、残ったのは城北だけであった。昔は幼虫を育て、放流をした。川ニラを育てる場所がない。水田をやっているため、育てる環境にない。
- ・ホタルを育てる前に、まずは川の整備、その後川にはどんな生物がいるのかを知ってもらい、マス等を放流するなど楽しめる仕組みも必要。
- ・昔ながらのホタルが多く生息することを目標に、川の清掃から始め、多くの生物が住めるような環境を作っていこうということとなった。そういった中で、子供たちが参加することで異年齢・世代間の交流を図り、川を通して地域のことを知ってもらおうということとなった。

(3) その他

- ・緑区役所区政策課から城山総合事務所周辺公共施設再編に伴う「窓口の変更と事務室の移転」についての情報提供がされた。
- ・企画政策課から令和2年度からの新しい総合計画の「基本構想」のパンフレットについて情報提供がされた。
- ・次回のまちづくり会議は、令和2年1月21日(火)午後7時から城山総合事務所第1別館B会議室で開催することを確認した。

4 閉 会 八木副代表

以 上